

児童室だより No. 87 (2014. 4発行)

読んでみませんか 児童室がえらんだものがたり・ちしきの本

| 本の情報 | 内容 |
|--|--|
| <p align="center">『ウマがうんこした』</p> <p align="center">福田幸広しゃしん ゆうきえつこぶん そうえん社 2014.1 【小低】</p> | <p>宮崎県都井岬には、たくさんのウマがいて、あっちにもこっちにも、うんこが落ちています。ウマのあかちゃんは、産まれてしばらくは、おかあさんのおっぱいで育ちます。あっ、あかちゃんがおかあさんのうんこを食べた！おかあさんのうんこの中には、草を栄養に変えるための菌が住んでいて、この菌をおなかに入れないと草が食べられないのです。ウマのうんこの役割を、やさしく解説しています。</p> <p align="right">(J489-7ク-1110790710)</p> |
| <p align="center">『こたえはひとつだけ』</p> <p align="center">立原えりか作 みやこしあきこ絵 鈴木出版 2013.11 【小低】</p> | <p>ユミのお母さんが、一週間ぶりに帰ってきました。お母さんの腕には、生まれたての赤ん坊のモミが抱かれています。お母さんはモミのことに夢中です。寂しくなったユミは、妹なんていらぬと言います。すると、どこからか、赤んぼとりせいさくじょ所長と名乗る奇妙な男が現れ、いらぬ赤ちゃんを鳥にすると、モミを連れて行ってしまいます。ユミは、モミを取り戻すため、わずかに聞こえるモミの声をたよりに、楓の木を登って行きます。</p> <p align="right">(J913-好-1110765413)</p> |
| <p align="center">『あたらしい子がきて』</p> <p align="center">岩瀬成子作 上路ナオ子絵 岩崎書店 2014.2 【小中】</p> | <p>みきとるいの姉妹に、弟ができました。あたらしい子がきたことで、家族にかまってもらえなくなったみきは、妹のりいとともに、悲しくなったり、意地悪な気持ちになたりします。みきは、自分の事を、お母さんに捨てられたかわいそうな子だと想定してみたり、強がってみたりしながら、さびしさを紛らわします。そんな中、おばあちゃんのお姉さんや、公園で出会った子どもまますのおばさんとの出会いを通して、みきとるいの心は少しずつ変化し、弟のことがだんだんと好きになっていくのです。</p> <p align="right">(J913-イワ-1110800076)</p> |
| <p align="center">『さよならのドライブ』</p> <p align="center">ロディ・ドイル作 こだまともこ訳 こがしわかおり絵 フレーベル館 2014.1 【小高】</p> | <p>老いたトチノキが立ち並ぶ坂道で、メアリーはふしぎな女の人に出会います。メアリーはその女の人から、死が迫っているおばあちゃんに「だいじょうぶ」と伝えてほしいと頼まれます。女の人は、死を怖がっているおばあちゃんを助けたい一心で現れた、メアリーのひいおばあちゃんの幽霊だったのです。メアリーは、ママと、幽霊となったひいおばあちゃんと一緒に、病院にいるおばあちゃんを連れ出し、他愛のないおしゃべりをしながら、夜のドライブに出かけます。</p> <p align="right">(J933-トイ-1110799823)</p> |
| <p align="center">『おばあちゃんはだどろぼう?!』</p> <p align="center">デイヴィッド・ウォリアムズ作 三辺律子訳 きたむらさとし絵 教育出版 2013.8 【小高】</p> | <p>ベンの両親は社交ダンスに夢中。両親がダンスに忙しい金曜日の夜、ベンはおばあちゃんに預けられます。キャベツ臭くて退屈なおばあちゃんの家に行くことが苦痛なベンでしたが、ある日、おばあちゃんが実は大泥棒であると分かり、おばあちゃんを見直すようになります。そんな折、おばあちゃんは病気で入院します。おばあちゃんを元気づけるため、ベンはロンドン塔へ忍び込む計画をたてます。しかし、決行の日、ベンは社交ダンスのコンテストに出場することになっていたのでした。</p> <p align="right">(J933-ウォ-1110771680)</p> |
| <p align="center">『オランウータンってどんな『ヒト』?』</p> <p align="center">久世濃子[著] 朝日学生新聞社 2013.12 【小高～YA】</p> | <p>人間と同じ「ヒト科」に分類される大型類人猿、オランウータン。人間と同じ祖先から、長い時間をかけて、人間とは別の進化の道を歩んで来ました。東南アジアの熱帯雨林の木の上で過ごし、群れを作らず単独生活をするその生態に、写真や最新の研究成果をふまえて迫ります。密猟やパーム油栽培による問題にも触れ、人間とオランウータンとの共生問題についても取り上げています。</p> <p align="right">(J489-クセ-1110784820)</p> |

| 本の情報 | 内容 |
|---|--|
| <p data-bbox="311 224 606 257">『ラブ・ウール100%』</p> <p data-bbox="343 302 574 392">井上林子作 のだよしこ絵 フレーベル館 2013.11</p> <p data-bbox="391 425 526 459">【小高～YA】</p> | <p data-bbox="718 201 1380 448">転校で、親友のきゅうちゃんと離ればなれになり、さみしい気持ちのアミコ。まだ慣れていない新しい学校の図書室で、編み物の本に出会います。アミコは、その本に載っている「大親友とおそろいランランマフラー」をきゅうちゃんにプレゼントしようと、編み物にチャレンジしますが、なかなかうまくいきません。編み物を習うため、本の著者が運営する、ニットカフェを訪ねることにします。編み物のため、ニットカフェに通うみんなに出合ったアミコは、マフラーを編みながら、新しい人間関係も紡いでいきます。</p> <p data-bbox="1149 459 1380 481">(J913-イノ-1110761432)</p> |
| <p data-bbox="295 515 622 548">『ゾウと旅した戦争の冬』</p> <p data-bbox="335 593 582 683">マイケル・モーパーゴ作 杉田七重訳 徳間書店 2013.12</p> <p data-bbox="391 716 526 750">【小高～YA】</p> | <p data-bbox="718 492 1372 739">リジーは、ドイツのドレスデンで両親と弟と暮らしていました。戦争が始まり、父が兵隊にとられ、母が家の近くの動物園で働き始めます。町が爆撃をうけたら、動物たちは射殺されると聞いた母は、特に気にかけていた子ゾウのマレーネを守るため、閉園後、自宅の庭で世話をしていました。ある日、町が爆撃されます。燃え上がる町を背に、リジーたちはマレーネを連れて、農場に住む叔父の家を目指します。やっとのことでたどり着いた農場には、叔父や家畜の姿はなく、それどころか、納屋には1人の敵兵がいたのです。</p> <p data-bbox="1141 750 1380 772">(J933-モハ-1110771760)</p> |